

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 6 年 5 月 20 日(2024.5.20)

【公開番号】特開 2023-22022(P2023-22022A)

【公開日】令和 5 年 2 月 14 日(2023.2.14)

【年通号数】公開公報(特許)2023-029

【出願番号】特願 2022-176191(P2022-176191)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)

10

G 0 2 B 1/14(2015.01)

G 0 9 F 9/00(2006.01)

G 0 9 F 9/30(2006.01)

G 0 2 F 1/1335(2006.01)

G 0 2 F 1/1337(2006.01)

B 3 2 B 7/023(2019.01)

G 0 6 F 3/041(2006.01)

H 1 0 K 50/86(2023.01)

H 1 0 K 59/10(2023.01)

B 3 2 B 27/30(2006.01)

20

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 B 1/14

G 0 9 F 9/00 3 1 3

G 0 9 F 9/00 3 0 2

G 0 9 F 9/30 3 6 5

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 2 F 1/1337

B 3 2 B 7/023

G 0 6 F 3/041

30

G 0 6 F 3/041 4 9 5

H 1 0 K 50/86

H 1 0 K 59/10

B 3 2 B 27/30 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 5 月 10 日(2024.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直線偏光板と液晶硬化層とを含む円偏光板であって、

前記直線偏光板は、偏光子と前記偏光子の片面にのみ積層される保護フィルムとを含み

、

前記偏光子、前記保護フィルム及び前記液晶硬化層がこの順に配置され、

前記偏光子は、ホウ酸架橋度指数が 1.0 以上であり、かつ、ホウ素含有量が 3.5 質量 % 以上 5.5 質量 % 以下である、円偏光板。

50

【請求項 2】

前記偏光子は、ホウ酸架橋度指数が 1.0 以上 1.3 以下である、請求項 1 に記載の円偏光板。

【請求項 3】

前記保護フィルムと前記液晶硬化層との間にハードコート層をさらに有する、請求項 1 又は 2 に記載の円偏光板。

【請求項 4】

前記保護フィルムは、環状ポリオレフィン系樹脂フィルムである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の円偏光板。

【請求項 5】

前記液晶硬化層は、第 1 液晶硬化層及び第 2 液晶硬化層を含み、
前記偏光子、前記保護フィルム、前記第 1 液晶硬化層及び前記第 2 液晶硬化層がこの順に配置される、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の円偏光板。

【請求項 6】

前記偏光子を除くいずれかの層が、光選択吸収性を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の円偏光板。

【請求項 7】

前記偏光子、前記保護フィルム、前記液晶硬化層及び粘着剤層をこの順に含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の円偏光板。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の円偏光板と、
前面板又はタッチセンサパネルと、
を備えるフレキシブル画像表示装置用光学積層体。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の円偏光板又は請求項 8 に記載の光学積層体を含む、画像表示装置。

10

20

30

40

50